

仏像から見る 上総氏と千葉氏



大多喜町長楽寺 阿弥陀如来立像 慶派作 鎌倉時代初期

中世前期の房総に君臨した二大勢力・上総氏と千葉氏の支配の実態について、上総・下総に遺された仏像から再考します。

県の南北で意外なほど異なるその造像は、上総氏と千葉氏の武士団としての相違点を明らかにしてくれるでしょう。

講師：濱名徳順

(仏教芸術学会会員・千葉氏フォーラム副会長)

令和8年1月22日(木) 13:30～15:30

会場：千葉市生涯学習センター2階 ホール

定員：100人 (応募者多数の場合は抽選)

費用：無料

応募方法：メール・往復はがき (12月25日(木) 必着)

宛先：Eメール manabi.kouza@ccllf.jp

往復はがき 〒260-0045 千葉市中央区弁天 3-7-7

千葉市生涯学習センター学習推進グループ

※申込方法の詳細はHPまたはチラシ裏面をご確認ください。



HPIはこちら

■問合せ■ 千葉市生涯学習センター学習推進グループ

電話 043-207-5820

講師プロフィール

濱名徳順(はまなとくじゅん)

昭和 32 年 千葉県山武郡芝山町生まれ

昭和 56 年 学習院大学文学部フランス文学科卒業

昭和 59 年 武蔵大学大学院フランス語フランス文化学科修了 文学修士



フランス・グランパレ国立ギャラリーでの「パリはにわ展」(1987 年)、千葉市美術館の企画展「仏像半島」(平成 25 年) 実行委員長、いすみ市郷土資料館の企画展「清水寺の仏像」(平成 31 年)「法興寺の仏像」(令和 3 年) 「行元寺のすべて」(令和 5 年)「上総氏と南総天台の仏像」(令和7年)などの展覧会を企画・監修しているほか、「千葉氏サミット」等 歴史・文化イベントでパネラーやコーディネーターを務めている。

現在:山武市・富津市・八千代市・袖ヶ浦市 文化財審議委員、茂原市史調査・執筆員、千葉氏顕彰会副会長

<専門分野> 仏教美術

<主要著書>

『バイリンガル僧侶のパリ日記』千葉日報 1998 年

『北総の名利巡礼』千葉日報 2007 年

『山武市の仏像』山武仏教文化研究会 2011 年

『千葉県の歴史 通史編 中世』2007 年(共著)

【申込方法】

下記の必要事項①～⑤をご記入のうえ、メールまたは往復はがきでお申し込みください。
(12/25(木)必着) (応募者多数の場合は抽選)

メールでお申込みの場合、お申込みから4日を過ぎても連絡がない場合は、必ずお問い合わせください。

○必要事項 ① 講座名 ② 郵便番号・住所 ③ 氏名(ふりがな)

④ 年齢 ⑤ 電話番号

○宛先 メール manabi.kouza@ccllf.jp

往復はがき 〒260-0045 千葉市中央区弁天3-7-7

千葉市生涯学習センター 学習推進グループ 宛て

千葉市生涯学習センターのホームページからも申し込めます。

メールでお申込みの方への結果通知は、お申込みのアドレスあてに返信します。

迷惑メール対策等のためメールの受信を制限する設定をされている方は、

《manabi.kouza@ccllf.jp》からのメールが受信できるように設定を変更してください。